真岡市行政評価システム
評価対象年度　平成30年度

事務事業マネージメントシート

作成日　平成31年 05月 15日

事務事業名	シルバー人材センター支援事業			担当	健康福祉部　いきいき高齢課　高齢者福祉係
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり		増補版施策名	
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援		■ 実施計画上の主要事業	
関連個別計画				事業期間	□ 単年度のみ ■ 単年度繰返（開始年度　昭和60 年度～） □ 期間限定複数年度（　　年度～　　年度）
法令根拠	シルバー人材センター事業執行方針（厚生労働省）				
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費	3.老人福祉費	
事業概要	高齢者の希望に応じた臨時的、短期的な就業の機会を確保し、また、希望者に対し組織的に提供することにより、高齢者の生きがいの充実・社会参加の促進を図り、活力ある地域社会づくりのため事業を展開しているシルバー人材センターに対し、補助金を交付し事業運営を支援する。				

1. 現状把握の部　(1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）

30年度実績
真岡市シルバー人材センター運営補助

31年度計画
前年度と同様

⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	補助金額	千円	9,070	9,070	9,060	9,060	9,060
イ							
ウ							
エ							
オ							

②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

真岡市シルバー人材センター

⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	真岡市シルバー人材センター数	箇所	1	1	1	1	1
イ							
ウ							
エ							
オ							

③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

シルバー人材センターの健全な運営を支援する。

⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	会員数	人	458	435	418	405	405
イ	受注件数	件	2,536	2,425	2,048	1,932	1,932
ウ	受注額	千円	200,743	199,223	186,918	183,140	183,140
エ							
オ							

④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）

高齢者の自立と社会参加の促進を図る。

⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移

	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	実働会員数	人	378	361	351	339	339
イ	実働会員数／会員数	%	82.2	83.0	84.0	83.7	83.7
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移

				単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	9,070	9,070	9,060	9,060	9,060
		事業費計（A）		千円	9,070	9,070	9,060	9,060	9,060
	人件費	正規職員従事人数		人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間		時間	15	15	15	15	15
		人件費計（B）		千円	63	62	62	63	63
	トータルコスト(A)+(B)			千円	9,133	9,132	9,122	9,123	9,123

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。	昭和60年5月29日の真岡・二宮シルバー人材センター設立と同時に補助を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	市町合併に伴い、これまでの2市町による広域組織から単独組織に変わったため、平成22年度から平成26年度まで、国庫補助率が順次減少したことに従い、市補助金も減額した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	